

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

# Growing

August 2015  
Vol. 36  
毎月10日発行

【今福教室】  
城東区今福西 2-9-20  
TEL.06-6934-4662

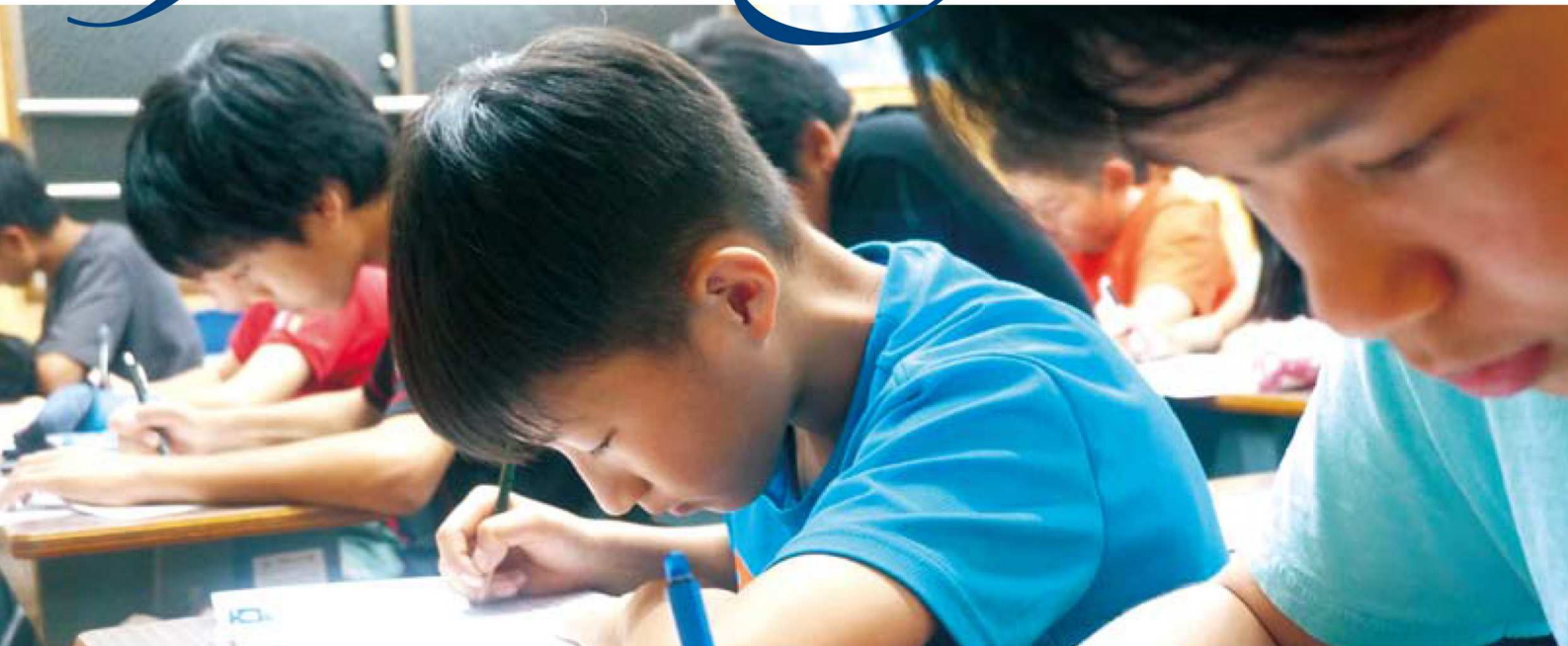
【今福第2教室】  
城東区今福西 2-16-8  
TEL.06-6931-2000

【諸口教室】  
鶴見区諸口 4-14-9-1F  
TEL.06-6912-3984

【今津教室】  
鶴見区今津南 1-6-2-1F  
TEL.06-6167-9722

【関目教室】  
城東区関目 4-6-17-2F・3F  
TEL.06-6934-8117

【古市教室】  
城東区古市 3-21-8  
TEL.06-6931-0467



## 教育を科学的に考える

高木 秀章 (塾長)



いよいよ夏期講習が始まりました。カイチの先生達も朝から夜中まで、教えっぱなしの毎日です。先生達もちろんそうですが、特に受験生の皆さん、夏期講習期間中は1日休んでしまうだけで大きく学習が遅れてしまいます。くれぐれも、体調管理は万全にしておきましょう。

と「やり抜く力」を挙げています。特にやり抜く力については、「自分のもとの能力は生まれつきのものでなく、努力によって後天的に伸ばすことができる」と信じている子供ほど強いことが認められているとのことです。

このことから、「躰を受けた人は年収が高い」という結果にも納得がいきます。山形大学の窪田准教授らの研究で躰が子供の勤勉性に因果関係を持つことも明らかになっているそうです。そして、この勤勉性が平均的な年収の差につながっているとのこと。

- 他にも興味深いトピックとして、
- 褒め育てはしてはいけない
  - 教育費をかけるもとも有効な時期は幼児である
  - 少人数学級は、経済効率が悪い など。

様々な内容が実験に基づくデータから科学的に説明されています。

現場の勘と経験に頼っている教育現場にとって、科学的根拠から物事を判断できるようになることは、画期的なことです。是非、このような研究が進んでいくことを願います。

また、教育をデータから考えることは、保護者の方にとっても、我が子の教育を新たな観点で見つめる機会を与えてくれると思います。この本の内容を全て肯定するのではなく、参考として家庭教育や躰に生かすには、どのようなことが考えられるか、またそれについて家族で話し合うことはとても有意義であると思います。

最近読んだ本で保護者の方にお勧めなのが『学力の経済学』。著者の中室牧子さんは教育経済学者……。聞きなれない言葉ですが、教育の成果をデータを用いて経済学的に分析する仕事です。

この本の面白さは、様々な教育に関する問題に対してデータを用いた科学的アプローチで答えているところです。

例えば「子供はご褒美で釣ってはいけないのか？」という問いに対して。テスト結果などのインプットに対してのご褒美ではなく、「1時間勉強をする」「読書をする」などのアウトプットに対して、誕生日など遠い将来ではなく、勉強が終わったらなど近い将来にご褒美を与えるのが効果的だと理論展開されています。

私的になるほど感じたのは、非認知能力についてです。非認知能力とは学力以外の能力であり、「忍耐力がある」「社会性がある」「意欲がある」などのいわゆる「生きる力」と言われるのですが、これらが学歴・年収・雇用などで子供の人生において長期にわたり因果関係を持っていることが説明されています。

非認知能力には様々な種類がありますが、著者が重要でトレーニングにより向上するものとして「自制心」



# Focus



## 学習のコツ

### STUDY KNOW-HOW

高木 直也 (諸口教室)



夏期講習真っ盛り、今気を付けておくことは？  
皆さん、夏休みをいかがお過ごしでしょうか。中学一年生は部活動の練習量も増え、二年生は引退を迎える三年生のあとを継ぐべく練習に精を出していることと思います。しかし、部活動だけではもちろんダメ！そう勉強です。学校の宿題はどれだけ終わっているでしょうか。夏休みの終わりに泣きながらまとめてなくていいように計画的に消化していきましょう。

さて中学三年生にとっては「勝負の夏」です。この夏の頑張りが秋冬に大きな実力となって志望校合格を後押ししてくれます。では、この夏を最高の夏にするために何が必要なのでしょう。それは、「夏期講習をやり切る」ことです。やり切るとは、授業を集中して聴くのももちろんのこと、与えられた課題を完璧にすることです。完璧にするというのは単に満点の答案を作ることはありません。出された課題の単元を理解することです。「なぜ、その答えになるのか」納得するまで考えましょう。納得できなければ先生にとことん相談してください。先生をとことん活用することが成績を上げる早道です。次に、注意して欲しいこととして「友達同士での教え合い」です。これは、教わっている方はもちろん、教えている方にとっても知識を整理し伝えることで理解が深まります。ただ馴れ合いになるならばやめてください。

部活動も引退直前で練習量もピークでありながら、勉強量も過去最大となっているこの

夏、皆さんに気を付けていただきたいのは、まず、「体」調です。せっかく素晴らしい教材を用いたり、素晴らしい授業を受けることができても、体調を崩しては学習し損なってしまいます。体調管理には質の良い睡眠が必要です。意味もなく、夜更かししていませんか？また、だらだら日中寝ていませんか？寝不足はもちろんのこと、寝すぎも身体にはよくありません。早寝早起きを心がけ、規則正しい生活を送りましょう。

次に「心」。お父さん、お母さんの話はちゃんと聞いていますか？反抗期真っ盛りの生徒も少なくないはず。自分にとって一番身近な存在であるお父さん、お母さんの言うことが聞けない人は、周りの大人の言うことも聞いていないはず。塾の先生、部活動のコーチの都合の悪いアドバイスに耳を貸せない状態で、はたして実力はつくのでしょうか？自分にとって、耳が痛いアドバイスほど、自分を大きく成長させるヒントがあるはず。自分の考えとは違うから関係ない。」ではなく、こういう考えもあるのかと受け入れられる広い心を持ってください。

最後に「技(学力)」の習得について、何をやっていいかわからない人は、まず与えられた課題を一つ一つ全力で取り組みましょう。やるべきことをいっぺんに見渡すと途方に暮れてしまいますが、千里の道も一歩から。一つ一つ確実に消化していけば必ず目標にはた

どり着きます。途中苦しいこと、つらいことも多々あると思いますが、それは先生達に相談しましょう。先生達は生徒みんなの実力アップのために全力でサポートします。以上、「心・技・体」を充実させ、素晴らしい夏期講習になるように先生達も全力で指導します。最後まで夏期講習をやり切って最高の夏にしましょう。





KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

## 文理学科講座始まります！

岡本 泰行 (今津教室)

あっという間に夏休みも、終盤にさしかかってきました。皆さん、今年の夏は有意義に過ごせていますか？中学3年生は、今までにしたことないほどの勉強をしていることでしょうか。この現実から逃げずに、真正面から立ち向かっている人はよい結果に結びつき、人間的にも大きく成長できると思います。目標を高く持ち、目標を夢で終わらせないようにしましょう。

さて、9月からですが、文理学科を目指す生徒のための文理学科講座が始まります。文理学科とは大阪のトップ10校と言われる高校（北野・天王寺・大手前・四條畷・高津など）に設置された学科です。昨年までは前期での入試だったのですが、今年から後期に一本化され、3教科入試から5教科入試へと総合力が問われるようになりました。また、数年前から言われていますように、英語の難化、そして、5教科の知識を組み合わせた問題を解き、それらの解法やその根拠を表現する「活用型の問題」などは、新しい教育観として、全国学力テストでも出題されたように、今後、入試にもどんどん出題されるようになります。その為、講座では個別に答案チェックを行います。例えば、英語では英作を書くにあたっての文法の使い方、単語の使い方などを細かく指導し、数学では、求め方や、証明などの減点されにくい書き方。国語では、記述の書き方などは、個別に採点しアドバイスをしながら自分の考えた事、思った事を答案に表せる力を育成します。

この講座では、各教室のトップの生徒達が集まり、切磋琢磨しながら授業を行います。テスト実施時は、その日のうちに過去のデータ等から判断して合否判定を出します。毎年のごとくですが、9月当初は、

全く点数が取れず、20点や30点の生徒達も、10月11月と月日が流れるにつれて、答案作成力が格段に上がり、合格点へと近づいていきます。よって、テストなどの雰囲気は、1点でも多くとろうと緊張感があり、鉛筆一つ落とせないぐらいの張りつめたものがあります。入試本番では、内申点と当日点の割合が3対7もしくは4対6の割合での合否判定になると思います。ですから、当日の出来・不出来は、合否を大きく左右します。よって日頃から入試本番のような緊迫した空気の中、自分の力を最大限に答案に表すこのようなトレーニングは非常に有効です。

さて、いろいろ書きましたが文理学科を受験するにあたって、日々心がけて欲しいことがあります。

- ①「何事に対しても、疑問を持って取り組むこと」「この復習の仕方ですべて完璧なのだろうか。」「この考え方で大丈夫なのだろうか。」「これでいいのだろうか。」と何事に対しても自問自答してください。そして不安なことは調べて解消してください。
- ②日々の生活（テレビなどを見ている）で、「自分は〇〇だからこう思う」ということを考えてください。その時に必ず「〇〇」の部分を見たり・聞いたり・学んだりしたことから言えることが大切です。それらが自分の意見を表せることであり、考える癖に繋がります。

文理学科の合格を目指す方の参加をお待ちしております。



## 川西のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 川西 久志 先生 (今福教室)

皆さんこんにちは。私は運動が好きなのですが、実は運動は脳や精神にいい影響を及ぼすことを知っていますか？このことは10年ほど前からわかってきたことなのだそうです、その中から二つほどお話ししたいと思います。

まずは、記憶にいいという点です。記憶に関する脳の部位は海馬が担当していますが、有酸素運動や筋力トレーニングにより、海馬の神経細胞が増加することが分かっています。さらに、運動しながら脳を使うスポーツは前頭葉を刺激し、脳の活動を高めます。前頭葉は記憶や情報を一時的に保持し、組み合わ

せて解答を出す働きに関わっています。

例えば、仕事などで計画を立てるときなどに活用されます。スポーツで勝つために自分で考えてプレイすることが、結局は勉強や仕事にも活用できるということでしょう。

次に、運動はドーパミンという物質を放出します。ドーパミンは一言でいえば、「やる気」を生み出す物質です。運動それ自身がドーパミンを分泌させるのです。さらに、ドーパミンはストレス物質であるコルチゾルの分泌も抑える効果を発揮します。ですから、運動によってストレス発散をする実感を得ることができるのです。

中学三年生の皆さんは受験勉強のストレスとの戦いでもあります。中には受験のプレッシャーで辛くなる時がくるかもしれません。その時には短い時間でいいので、適度な運動をする（軽いウォーキングで三十分程度）と気分がすっきりするはずですが、私はよく時間を作ってランニングをしますが、外のきれいな景色を見ているだけでも気分転換になります。

私は、今、学生時代の自分の半分くらいいいので体力を取り戻そうと頑張って鍛えています。いざ運動のことを理論的に知ろうとして勉強をしてみると、運動の奥深さにびっくりします。スポーツを若いころは感覚でやってましたが、本を買って勉強すればもっとよい結果を出せたかもしれません。このように考えると運動能力を向上させるにも、机に向かって勉強する必要があるということですね。



## COLUMN: 先生紹介 ▶ 倉田 康豊 (今福・関目教室)

## 名医に学べ!



関目教室と今福教室で社会科を担当させていただいている倉田です。

この度、コラムを任せられたので社会科という科目と、塾に対

する私の考えを綴ってみようと思います。

さて、皆さんは今まで大きな病気にかかったことがありますか?仮に無かったとしても、もし自分がすごく重い病気にかかったと想像してください。

そのとき、あなたはどうしますか?

近所の小さな病院では治せないくらいに生死がかかった病気で、一刻も早く治さないと命が危うい状況です。そんな時は、大学病院という規模の大きな病院へ行く必要があります。ところが、その大学病院に行っても治療方法が分からないような重い病気だったとしたら・・・

残された機会としては、その治療の難しい病気を治せる「名医」と呼ばれるプロフェッショナルな先生を日本中から、もしくは世界から探さないと治せません。

では、小さな病院の医者や名医と呼ばれるようなすごい医者との違いは何でしょうか?

やはり、今までの治療実績と、膨大な知識と、最新鋭の治療設備や治療に使用する薬、普段からの治療研究の差ではないでしょうか?すなわち、近所の病院では何年通院しても治せない病気が名医にかかればすぐさま治るといったイメージでしょうか。

この話を塾にたとえてみましょうか。

先ほどの重い病気にかかった患者が、塾に通っている皆さんだと考えてみてください!

「病気を治すこと」を「成績を上げること」と考えてください。

皆さんはどこ「病院」に行くべきでしょうか?すなわち皆さんはどんな「塾」に通えば良いのでしょうか?

さらに言うと、飲む必要がある薬を飲まないと病気って治らないですよ?これを塾にたとえるならば、「薬=宿題」です。

皆さんはカイチに通ってうすうすお気付きかと思いますが、この塾には「名医」レベルの「治療=授業」ができないと、カイチの塾の先生になれないという厳しい採用試験を突破した先生しか存在しておりません。

さらに、その「名医」レベルの先生の中でも、皆さんの知らないところで「どれだけうまく治療できたか?」が競われております。すなわち「どれだけ大きく成績をあげたか?」がカイチの全先生で競い続けているのです!

そんな世界に皆さんが通塾できているのはとても運がいいと思います。

長々と語りましたが、私自身も「名医」とは?という難題を自分自身に問い続けております。あらゆる治療方法(=授業方法、指導方法)ができ、良く効く薬(=成績を上げるのに最適な宿題、課題)の知識、最新設備(=社会科の場合は地理などによく出る最新データが使われたテキスト)をそろえる、そして治療実績(=どれだけ成績を上げているか)が、名医とたとえられるような先生ではないかと考えていたりします。

ここまで飽きずに読んでくれた皆さんは、さすがにお気付きでしょうか、どんなに名医でも患者が家で薬を飲んでくれないと治せません。

皆さんは、薬(=宿題)を自宅でちゃんと飲んでますか?

文字数が限られているので最後にもう1つだけ、中間テストや期末テストの社会科の勉強をどのレベルまで完璧にすべきかを述べてみようと思います。

たとえば、皆さんが「あなたの名前は何ですか?」と尋ねられた時に、「えーっと・・・」って考えますか?おそらく即答するはずですよ。なぜ即答できるのでしょうか?

では「あなたととても親しい友達は誰ですか?」と尋ねられたらどうですか?しばらく考えないと言えませんか?おそらく即答できると思います。では、なぜすぐに答えられるのでしょうか?

もちろん友達になってすぐの時は忘れることもあると思いますが、しばらくたつと絶対忘れないでしょう。普段から何度も何度も名前を呼び続けているから忘れないのです。

これを社会科の勉強に置き換えてください。皆さんがテスト前に塾で配布されるとてもよく効く薬(=社会科の一問一答集)を真面目に飲んでますか?風邪薬でも1日では治りませんよ!最低でも風邪をひいて病院に行ったら3日くらい飲み続けないと駄目ですよ?

社会の一問一答集も同じですよ!薬と思って飲みまくりましょう!最低3回と指示が出ているでしょ?1回だけではどんないい薬でも病気は治りませんよ!!

最終的に自分の名前を答えるかのように、問題に「即答」できるまで薬を飲み続けてください(一問一答集をやり続けてください)。

## カイチからのお知らせ

■8月中、学習部は夏期講習時間割となりますのでご注意ください。また、パスカルキッズは一部の教室で時間帯が変わります。ご注意ください。

■8月10日(月)～8月15日(土)・8月27日(木)～29日(土)は休塾日です。

■8月22日(土)は珠算・パスカル・小学部生対象に夏のピンゴ大会を行います。詳細はお知らせを配布いたします。楽しみにしていて下さい。

■8月26日(水)より通常授業がスタートします。